

【山ノ内町】校務DX計画

2025年3月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	0%	100%		
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	0%	100%			
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	100%				
選択項目	1.児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受けつけ、学校内で集計している学校の割合	0%	100%			
	9.1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	100%				
	19.職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れている学校の割合	100%				
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	・教育委員会と各学校や事業者とのやり取りにおいて、FAXが使用されている業務が残っている。 ・押印の見直しについて進められているが、押印が必要な書類も多く残っている。 ・ICTに対する意識や活用スキルが教職員によって差がある。				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	・FAXでやり取りしている業者に対し、メールでの対応等を提案する。 ・ICT支援員の活用機会を増やし、より手厚い支援の体制を整える。 ・教育委員会の担当者と各学校の情報担当職員による会議等、定期的に情報交換できる機会を設ける。				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	・Google Workspace for Education等を効果的に活用しデータをクラウド化することで、職員間の情報の共有化やペーパーレス化を促進し、業務の効率化を進める。				